

第207回岐阜県小児科懇話会 プログラム

日時：令和8年6月18日(木) 18:25～20:50

会場：ハイブリッド開催（現地会場：じゅうろくプラザ 5階 大会議室）

開会の辞（18:25～18:30） 当番世話人 中濃厚生病院 小児科部長 内田 靖 先生
一般演題（18:30～19:50） 座長：中濃厚生病院 小児発達診療部長 森本 航 先生

1) 「若年発症の尿路結石を契機に判明したシスチン尿症の一例」

長良医療センター

○高田果歩、山本崇裕、水野朋紀、原晃啓、二宮央、宮崎久美子

2) 「慢性ITP に対するRituximabの有用性」

岐阜市民病院

○長屋優輝、平松こもも、小川菜那子、加藤駿一郎、篠田太郎、岡田裕希、宮崎太地、平手友章、大城一航、横山能文、山下達也、森真理、神田香織、篠田邦大

3) 「脳静脈洞血栓症を合併したネフローゼ症候群の一例」

岐阜県総合医療センター

○篠田優、松隈英治、栗澤晶妃、中島想支、日置幸信、金森浩平、上田優果、阪下達哉、村上博昭、松波邦洋、今村淳

4) 「蛋白漏出性胃腸症における診断時期の重要性：回復期にはシンチグラフィーで漏出所見を認めなかった1例」

中濃厚生病院

○大久保瑞稀、柘洞早帆、佐々木汐里、井川博敬、林麻紗巳、遠藤誠士、岸田真、森本航、内田靖

5) 「小児の稀な胆嚢疾患 胆嚢捻転症・絞扼性胆嚢炎」

大垣市民病院

○伊藤睦海、小島大英、兒玉大地、中智晶、篠田次郎、中村尚司、金山朋子、柴田晶美、鹿野博明

6) 「熱傷を診るのはどの診療科ですか」

矢嶋小児科小児循環器クリニック

○矢嶋茂裕

7) 「デュピルマブ治療中のアレルギー特異的IgE 値と症状誘発閾値の変化を検討した食物アレルギーの3例」

1)岐阜大学大学院医学系研究科 小児科学、2)岐阜大学医学部附属病院アレルギーセンター、

3)岐阜大学大学院医学系研究科 希少難病研究室、4)小児希少難病早期診断・予防医学

○福富惇1)2)、熊谷千紗1)2)3)、三輪友紀1)2)、門脇紗織2)3)4)、鈴木紀子3)、川本美奈子1)2)、川本典生1)2)3)、大西秀典1)3)

情報提供（19:50～20:00） 「ワイキャンズ®外用液0.71%」鳥居薬品株式会社

教育講演（20:00～20:45） 座長：中濃厚生病院 小児科部長 内田 靖 先生

『小児アトピー性皮膚炎における外用JAK阻害剤の位置づけ：コレクチムをどう使い分けるか』

演者：三重病院小児科/アレルギーセンター 臨床研究部長 長尾 みづほ 先生

閉会の辞（20:45～20:50） 代表世話人 岐阜市民病院 小児科部長 篠田 邦大 先生

第207回世話人：中濃厚生病院 小児科部長 内田 靖

共催：岐阜県小児科懇話会・鳥居薬品株式会社